尾張東壁堂藏板畫譜畫手本目録

北齋漫畫ハ顧愷之が蔗を
食ふが如し漸く佳境に入り
十二編に臻て狂態百出筆力
老てますます健なり僧正が俵と
軽重を論じ一蝶が鞠と

北齋漫畫十貳編圖

高低をあらそふし繪難房
ふたゝびなるとしいでゝ閑然
たるりを得人

天保甲午春

蜉蝣子
高[illegible]書

笑門ニ
福来る

相馬公家

公時

綻

仰天

雷乃怪我

嚊み

廉想

大嚢

隘物

風

素麺

隋髯

唐人踊り

股野

塩冶判官

天眼鏡

千人切

和藤内
休足

浄瑠理出情

治療

天狗六面を風呂鋪に包む

北斎漫画十二編

女人禁制
鍋鋳懸ふ
鉤鐘

北斎漫画十二編

獵師

帯引

寒念佛

鉤の名人

同 河童を鉤れの法

膽が芋にて成る

餅ハ餅屋

灰吹から
大蛇

眼康

泥田棒

早飛脚

獨相撲

雲雀山
餓鬼之助

立臼に
菰を巻く

蚵け天上
屎別所

蠻国の灸治

風呂屋
鯉登り

耳坊
鍋蓋
かんまん

福引

煎茶早指南

尾礫舎主人著　月樵老人畫　全一冊

此書ハ煎茶の極意を記しるなり煎茶を初めするにも道具揃ハざる人其を見るにたにあらば道具ハ有合の品にて心安く調へ客来るとも恥しからざる指南にて風を得し就中煎茶の水加減ハ朝夕に用ゆるに大に益ありて番茶の類も此煎法を以て増減を加る時ハ白茶も變じて喜撰一種奪の外の高味を知るべし其ハ巻中に委しく見えたり

俳諧五七集

枇杷園士朗翁著　全五冊

士朗先生俳諧の書数篇の中三十五部を以て五七集と号け先生一世の俳諧風雅を尽されし此書なり芭蕉翁いひの一大家にて風調意味深く此道に遊ぶ輩の亀鑑とするべし

書肆

尾州名古屋本町通七丁目　永樂屋東四郎

江戸日本橋通本銀町二丁目　同　出店